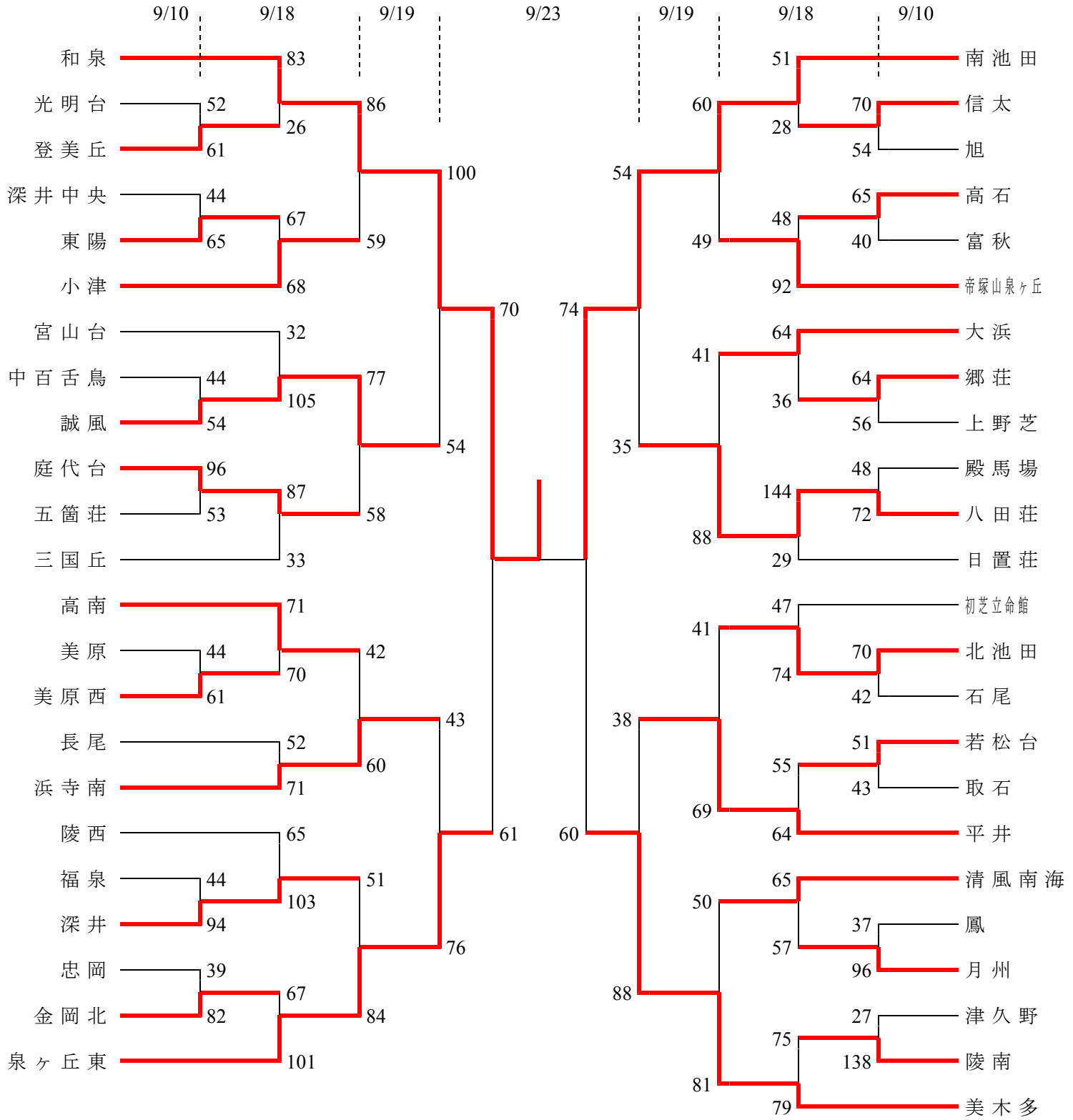


2011年度泉北地区秋季大会

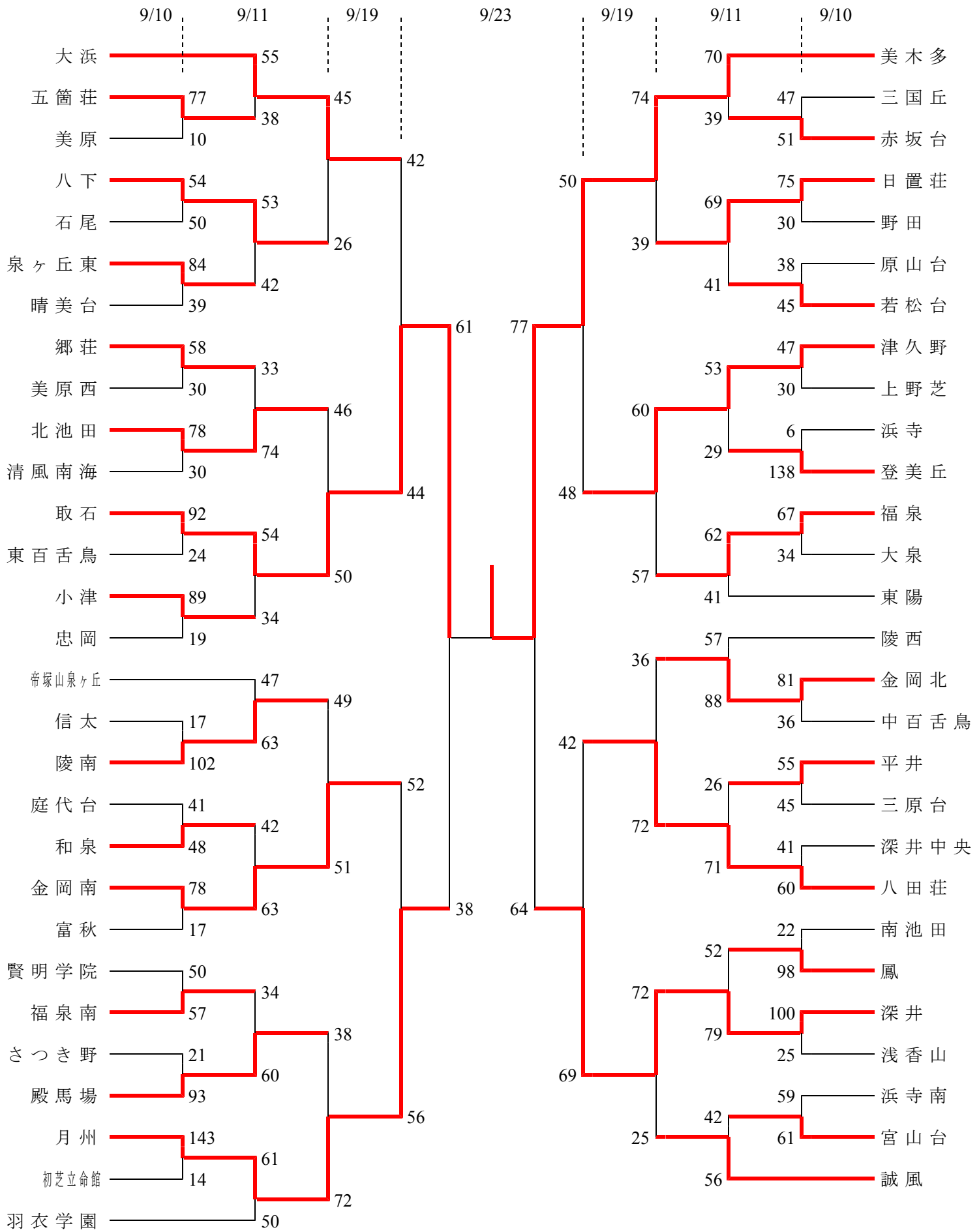
男子の部



決勝
和泉 67 - 48 南池田
19 1Q 16
21 2Q 10
15 3Q 6
12 4Q 16

3位決定戦
泉ヶ丘東 54 - 65 美木多

女子の部



決勝
 取石 5 5 - 5 8 美木多
 18 1Q 17
 9 2Q 11
 14 3Q 17
 14 4Q 13

3位決定戦
 月州 5 2 - 6 8 深井

男子決勝戦評

和泉 16、17、19、20、21、南池田 14、15、16、17、18、両チームハーフコートマンツーマンでスタート。静かな立ち上がりの中、和泉は 17 の 1 対 1 を中心にオフェンスを組み立てる。加えて 20、21 の 3 P も決まり 14 - 4 とリードを広げる。対する南池田はタイムアウトで落ち着きを取り戻し、17、18 の 1 対 1 を中心に追いつき 19 - 16 で 1 Q を終える。

2 Q に入ると一進一退の攻防が続く。残り 2 分 5 点差の場面で南池田がタイムアウトを請求。ここから和泉がハーフコートで 1 - 2 - 2 のゾーンプレスを仕掛け、一気にリードを広げ、40 - 26 で前半を終える。

3 Q に入っても和泉は速いランジションから 16 を中心に 4 連続ゴールを決め、勝利を決定づける。南池田も 18 を中心に粘りを見せるが点差は縮まらず、67 - 48 で和泉が優勝を飾った。

(川人、福島)

女子決勝戦評

取石は④⑧⑨⑪⑬、オールコートの 2 - 2 - 1 からハーフコートの 2 - 3 ゾーン。美木多は④⑤⑥⑦⑨、オールコートマンツーマンでスタート。ゲームの序盤は取石が連続ポイント上げ、流れをつかむ。対して美木多はミスが続き、なかなかリズムを握れない。そんな中、美木多⑤がインサイドでがんばりを見せ、徐々に盛り返していく。互いに攻防を続け、取石が 1 点リードして 1 Q を終える。

2 Q に入ると、取石は長い縦パスからの速攻が決まり得点を重ねる。美木多も④の 3 P、⑬のシュートで追いつく。次第に取石の速攻がつかなくなり、美木多が⑤のインサイドプレーで逆転する。

後半が始まると、美木多が連続ポイントで一気に差をつけようとするも、取石⑬が要所で 3 P を決め食らいつく。取石は美木多のドリブルに対してダブルチームをしかけ、リズムを崩しにかかると 45 - 41 と美木多が 4 点リードで 4 Q に入る。

美木多はインサイドを中心に得点を重ねる。取石はフリースローを確実に決め、最後まで食らいつく。終盤プレスをかける取石ディフェンスに対し、美木多は落ち着いてボールをまわす。取石⑬のカットイン、3 P で得点するが、美木多が最後までリードを保ち、逃げ切った。

(南裕)